

# 一般質問通告書

令和8年6月2日

高島市議会議長 河越 安実治 様

高島市議会議員 12番 福井 節子

次の事項について質問いたしたいので通告します。

※質問項目（番号）が2以上ある場合は、次のどちらかに○をつけてください。

- ・質問番号1の用紙にだけご記入ください。
- ・質問が一つだけの場合は必然的に1となりますので、記入は不要です。

初問は { 1. 全項目一括質問一括答弁  
②. 項目ごとに一括質問一括答弁

(質問番号 1)	<b>世界的情勢・経済不安の下、市の大型事業は一旦立ち止まるべきではないか</b>
発言事項	
要旨	(項目だけでなく、質問の趣旨が理解できるように記入してください。)
	<p>今日の経済情勢は、過去の中東情勢、世界経済、日本経済の困難な時期を越える厳しい情勢と言わざるを得ない。</p> <p>日本でも、自治体での大型公共事業の入札が不調に終わったり、入札参加者の辞退が相次ぐ状況が起きている。日本建設業連合会調査で、躯体工事・仕上げ工事・設備工事工種で、受注制約・納期遅延・価格改定が起きているとの調査結果がある。</p> <p>この状況下、高島市が進める大型公共事業をこのまま進めて良いのか。新ごみ処理施設建設、マキノ小学校新築工事は、年度当初予定の実施設計、入札説明、入札執行落札予定月を、大幅に変更すべきではないか。</p> <p>4月に、市内6か所で区長自治会長会議が開かれ、市長は、現在の高島市の財政運営の厳しさを訴えられたが、今後、市が計画している大型公共事業の契約締結後の経済変動リスクが予測つかない情勢の下で、大胆な判断を求めたいと考え、以下問う。</p> <p>1、 新ごみ処理施設建設と運営の業者選定と入札執行において、DBO方式</p>

で市が資金確保、民間設計・建設、民間運営での業者選定と落札、契約へと進めて行くことになっているが、現在の経済環境激変の最中に契約を交わすことに、市のリスクが大きく不利な状況にならないか懸念するが、そうした事態はないと払しょく出来る状況か、伺う。

2、 最終入札参加がグループでの競争が適切に機能するよう、一者とならない複数の事業者グループを必須とする方式になっているか。

3、 マキノ小学校新築についても同様で、さまざまな資材の調達が難航する中、こうした建設関係工事を一時停止する動きが各地で出始めている。実施設計進行中と考えるが、その懸念はないか。

4、 市財政のひっ迫、4年後には市の貯金である「財政調整基金」がゼロになると市は説明します。そして、公共施設の削減を進めていくとのことですが、それしか方法はないのでしょうか。

私は、これをチャンスに大型公共事業の推進を、一旦停止する。そして、方向性を市内・議会・関係者市民と意見交換する。資料を公開し、市財政の窮状も示し訴える。十分に話し合い、一つ一つの私たちの大切な財産である公共施設を、どう活かし、どう処理し、どう新たな公共施設を建設するのか、しっかり議論し納得する事が必要ではないか。